

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○一人ひとりを大切にしながら、地域と共に子ども達を育てていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図りながら、学校教育で育成すべき資質・能力を明確にし、「何を」「どのように」学ぶかを視点に授業改善を行います。 ・子ども達が自己有用感をもちながら、「なかよく たのしく げんきよく」学校生活が過ごせるようにします。 ・健康の大切さを知り、子ども達が自ら健康・体力づくりに取り組めるような生活習慣が形成できるようにします。 ・温かい地域の教育力を感じながら、社会とのつながりを意識し、「まち」に生き、「まち」を誇れる心を育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	豊かな体験活動で培った子どもの問題意識をいかして道徳の授業改善を進め、校内研修を通して、教職員の授業力の向上を目指します。	<p>指針1 「道徳の時間」の充実</p> <p>① 子どもの実態をもとに、「私たちの道徳」などの教材を活用する。</p> <p>② 授業を伴う研究会を行う。</p> <p>③ 道徳部や講師を招いての研修をする。(教科化・評価)</p> <p>指針2 体験学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たてわり活動など異年令活動を充実させる。 ・生活・学習の総合化、自己を見つめた生き方を育成する。 ・栽培活動・ミュージックタイムの充実を図る。
担当	道徳部	

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校は児童数287名、全クラス30名以下の小さな学校で、子ども一人ひとりに対して比較的細やかな指導ができる。子どもたちは、明るく素直でよい面も多くあるが、学校評価アンケートの結果や実態から見えた課題がある。

- ・学習意欲はあるが、自分に自信が薄く人前で意見を言ったり発表したりすることに苦手意識がある子が少なくない。
- ・学校生活は楽しく送っているが、コミュニケーションが上手くとれず、トラブルになってしまうことがある。お互いのよさや成長を認めながら折り合いを付けていく力がやや不足している。(社会性・協調性)

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- 充実した「道徳の時間」のあり方
 - ・より確かな価値把握をするための、資料の活用と発問、板書の工夫。
 - 授業参観の視点、観点の明確化。
 - ・「私たちの道徳」や、地域・郷土、今日的な課題についてなど、実態に合った資料の開発と活用。【視点1】
 - ・校内の道徳研修で、教材研究やふりかえりの行い方を実施していく(教科化・評価)
- 「道徳の時間」への保護者、地域の方々の周知。 ➡オープンスクールで道徳授業の公開と参画(学校ボランティアの活用など)

道徳教育全体計画・別葉

- ・評価について、共通理解を図っていく。
- ・別葉と学年別主題配列表の活用と見直し：年間を通して具体的に活用できるものに加筆修正していく。

指針2 体験学習の充実

- 「異年齢集団活動」の充実
 - ・「児童会活動」「クラブ活動」「たてわり活動」などの「異年齢集団活動」を、より自主的、意欲的に行う。
 - ・月1回のふれあい集会やロングのふれあい活動の充実をはかり、異年令同士のつながりを築くようにする。
 - ・他学年との清掃活動・体験学習・集会を意図的に行う。 【視点3】
 - ・小中一貫教育・幼保小連携などの活動を通して、相手のことを知り思いやる心を育てる。
- 「集団宿泊体験」の充実
 - ・発達段階に即した活動のねらいを設定し、校外の豊かな自然や文化に触れる「宿泊体験学習」を充実させる。
- 宿泊体験学習や校外学習、総合的学習の時間を活用していく。
 - ・まち探検や横浜の時間を使い、地域材を活かしていく。